2024年度　シラバス

能達工科カレッジ

科目名：	MOS対策Ⅰ		担当教員：　三上健太　先生				4　単位	
実務経験	あり	経歴	合同会社ゆいあーる設立（システム開発の請負事業や防災関連事業）					
講義名：	MOS対策Ⅰ							
1 年	授業時間数：　60 時間		授業形態：	講義	30	演習	30	実習

概要と学習目標
概要： 実社会での業務に不可欠なMOSの技能の習得を目指す。
学習目標：基本操作ができるレベルから始め、新しいMOS2016の試験合格のレベルを目指しスキルの上達を図る。

成績評価項目と評価割合	出　席	授業態度（振り返りシートで評価）	定期テスト・成果物
	（2/3以上とする）	80%	20%
評価基準	A：80～100点、B：70～80点木満、C：60～70点未満 D：50~60 点未満、F：50点未満　【合否の別】合格：A、B、C【不合格】D、F		
準備学習	予習・復習	事前にシラバスを熟読し理解しておくこと。 また講義内容の復習を行うこと。	

※1回90分2授業時間数相当

回数	授業内容・到達目標	授業方法
2	Excelワークシート、ブックを作成する	講義・演習
2	Excelワークシート、ブックのオプションと表示をカスタマイズする	講義・演習
2	Excel配布するためにワークシート、ブックを設定する	講義・演習
2	Excelセルやセル範囲にデータを挿入する	講義・演習
2	Excelセルやセル範囲の書式を設定する	講義・演習
2	Excelデータをまとめ、整理する	講義・演習
2	Excelテーブルを作成し管理する	講義・演習
2	Excelテーブルのスタイルと設定オプションを管理する	講義・演習
2	Excelテーブルをフィルターする	講義・演習
2	Excel関数を使用してデータを集計する	講義・演習
2	Excel関数を使用して条件付きの計算を実行する	講義・演習
2	Excel関数を使用して書式を設定する	講義・演習
2	Excelグラフを作成する	講義・演習
2	Excelオブジェクトを挿入する、書式設定する	講義・演習
2	学期のまとめ	講義・演習

2025年度　シラバス

能達工科カレッジ

科目名：	MOS対策Ⅱ		担当教員：　三上健太　先生				4　単位	
実務経験	あり	経歴	合同会社ゆいあーる設立（システム開発の請負事業や防災関連事業）					
講義名：	MOS対策Ⅱ							
2 年	授業時間数：　60 時間		授業形態：	講義	30	演習	30	実習

概要と学習目標
概要： 実社会での業務に不可欠なMOSの技能の習得を目指す。
学習目標：基本操作ができるレベルから始め、新しいMOS2016の試験合格のレベルを目指しスキルの上達を図る。

成績評価項目と評価割合	出　席	授業態度（振り返りシートで評価）	定期テスト・成果物
	（2/3以上とする）	80%	20%
評価基準	A：80～100点、B：70～80点木満、C：60～70点未満 D：50~60 点未満、F：50点未満　【合否の別】合格：A、B、C【不合格】D、F		
準備学習	予習・復習	事前にシラバスを熟読し理解しておくこと。 また講義内容の復習を行うこと。	

※1回90分2授業時間数相当

回数	授業内容・到達目標	授業方法
2	Word文書の管理	講義・演習
2	Word文字、段落、セクションの挿入と書式設定	講義・演習
2	Word表やリストの管理	講義・演習
2	Word参考資料の作成と管理	講義・演習
2	Wordグラフィック要素の挿入と書式設定	講義・演習
2	Word文書の共同作業の管理	講義・演習
2	wordまとめ	講義・演習
2	PowerPointプレゼンテーションの作成と管理	講義・演習
2	PowerPointテキスト、図形、画像の挿入と書式設定	講義・演習
2	PowerPoint表、グラフ、SmartArt、メディアの挿入	講義・演習
2	PowerPoint画面切り替えやアニメーションの適用	講義・演習
2	PowerPoint複数のプレゼンテーションの管理	講義・演習
2	MOS2016対策	講義・演習
2	MOS2016対策	講義・演習
2	学期のまとめ	講義・演習

2024年度　シラバス

能達工科カレッジ

科目名：	コミュニケーションスキルⅠ	担当教員：	柴田哲志　先生	4　単位
実務経験	あり	経歴	プロデューサーとして20年メディア最前線で活躍。	
講義名：	コミュニケーションスキルⅠ（メディア論）			

1 年	授業時間数： 60 時間	授業形態：	講義	60	演習		実習	

概要と学習目標
概要： メディアの歴史的変遷を理解し実社会の様々な場面で活用できる力を養う
学習目標：新聞、電話、映画、ラジオ、テレビにいたるメディアの変遷を技術論のみならず社会的枠組みの中で捉えて理解する

成績評価項目と評価割合	出　席	授業態度（振り返りシートで評価）	定期テスト・成果物
	（2/3以上とする）	50%	50%
評価基準	A：80～100点、B：70～80点木満、C：60～70点未満 D：50~60 点未満、F：50点未満　【合否の別】合格：A、B、C【不合格】D、F		
準備学習	予習・復習	事前にシラバスを熟読し理解しておくこと。 また講義内容の復習を行うこと。	

※1回90分2授業時間数相当

回数	授業内容・到達目標	授業方法
2	【メディアとは何か】自己紹介、本講義の進め方を理解し、目標設定を共有する	講義
2	【方法としてのメディア１】メディアの時代による推移	講義
2	【方法としてのメディア２】メディアの理論と複製技術	講義
2	定期小テスト①または課題	講義
2	【新聞学１】新聞が果たしてきた社会的機能	講義
2	【新聞学２】新聞と世論、プロパガンダ	講義
2	【マスコミュニケーション１】第2次大戦に見るプロパガンダ	講義
2	【マスコミュニケーション２】テレビ時代とマスコミュニケーション理論の限界	講義
2	定期小テスト②または課題	講義
2	【印刷革命と電子メディア１】電子メディア誕生	講義
2	【印刷革命と電子メディア２】印刷革命がもたらした近代	講義
2	定期小テスト③または課題	講義
2	【文化的アプローチとこれからのメディア１】	講義
2	【文化的アプローチとこれからのメディア２】	講義
2	最終課題	講義

2025年度　シラバス

能達工科カレッジ

科目名：	コミュニケーションスキルⅡ		担当教員：	柴田哲志　先生			4　単位	
実務経験	あり	経歴	プロデューサーとして20年メディア最前線で活躍。					
講義名：		コミュニケーションスキルⅡ（メディア論）						
2 年	授業時間数：　60 時間		授業形態：	講義	60	演習		実習

概要と学習目標
概要： メディアの歴史的変遷を理解し実社会の様々な場面で活用できる力を養う
学習目標：新聞、電話、映画、ラジオ、テレビにいたるメディアの変遷を技術論のみならず社会的枠組みの中で捉えて理解する

成績評価項目と評価割合	出　席	授業態度（振り返りシートで評価）	定期テスト・成果物
	（2/3以上とする）	50%	50%
評価基準	A：80～100点、B：70～80点木満、C：60～70点未満 D：50~60 点未満、F：50点未満　【合否の別】合格：A、B、C【不合格】D、F		
準備学習	予習・復習	事前にシラバスを熟読し理解しておくこと。 また講義内容の復習を行うこと。	

※1回90分2授業時間数相当

回数	授業内容・到達目標	授業方法
2	【歴史としてのメディア】本講義の進め方を理解し、目標設定を共有する	講義
2	【新聞と近代ジャーナリズム１】パンフレットから新聞へ	講義
2	【新聞と近代ジャーナリズム２】ジャーナリズムの大衆化、近代化	講義
2	定期小テスト①または課題	講義
2	【電話１】電話誕生と電信としての電話	講義
2	【電話２】放送としての電話とエリア拡大	講義
2	【映画１】動く写真	講義
2	【映画２】興行としての映画	講義
2	定期小テスト②または課題	講義
2	【ラジオ１】電波による交信、通信から放送へ	講義
2	【ラジオ２】音楽を家庭に、マスメディアとしてのラジオ放送	講義
2	定期小テスト③または課題	講義
2	【テレビ１】街頭テレビ、成婚パレード	講義
2	【テレビ２】国民的メディアとしてのテレビ	講義
2	最終課題	講義

2024年度　シラバス

能達工科カレッジ

科目名：	PC応用		担当教員：　　榎戸　重記　先生				2　単位	
実務経験	あり	経歴	20年以上富士通株式会社でエンジニアとして従事					
講義名：		プログラミング1~プログラミング＆プロジェクト運営の基礎~						
1 年	授業時間数：　30 時間		授業形態：	講義	15	演習	15	実習

概要と学習目標
概要： PHP言語を使ったプログラミングとチーム開発コミュニケーション
学習目標： ①Webシステム構築の基礎を理解する ②チーム開発の基本であるコミュニケーション能力を養う

成績評価項目と評価割合	出　席	授業態度（振り返りシートで評価）	定期テスト・成果物
	（2/3以上とする）	80%	80%
評価基準	A：80～100点、B：70～80点木満、C：60～70点未満 D：50~60 点未満、F：50点未満　【合否の別】合格：A、B、C【不合格】D、F		
準備学習	予習・復習	事前にシラバスを熟読し理解しておくこと。 また講義内容の復習を行うこと。	

※1回90分2授業時間数相当

回数	授業内容・到達目標	授業方法
1	パソコン基礎操作　＆　Chapter1　イントロダクション	講義・演習
1	Chapter2　環境構築と動作確認	講義・演習
1	Chapter3　最初のPHPプログラミング	講義・演習
1	HTMLタグ実習＆成果発表	講義・演習
1	Chapter4　制御構造とコントロール	講義・演習
1	Chapter5　関数を使いこなす	講義・演習
1	PHPプログラム試験	講義・演習
1	独自プログラム１	講義・演習
1	独自プログラム２	講義・演習
1	Chapter6　データベースの基本と操作	講義・演習
1	独自プログラム３	講義・演習
1	Chapter7　実用的なスクリプト	講義・演習
1	Chapter8　Webアプリケーションとして公開する	講義・演習
1	独自プログラム４	講義・演習
1	まとめ＆総合評価	講義・演習

2024年度　シラバス

能達工科カレッジ

科目名：	建築設計製図基礎Ⅰ		担当教員：　若柳 綾子　先生				2　単位	
実務経験	あり	経歴	1級建築士として、設計事務所勤務					
講義名：		建築設計製図基礎Ⅰ						
1 年	授業時間数：　30 時間		授業形態：	講義	10	演習		実習	20

概要と学習目標
概要： 建築物の企画・設計の考え方と手法、小規模専用住宅の設計図面の作成、住宅の外観スケッチの作成模型製作
学習目標：100点満点のうち60点以上を合格

成績評価項目と評価割合	出　席	授業態度（振り返りシートで評価）	定期テスト・成果物
	（2/3以上とする）	80%	20%
評価基準	A：80～100点、B：70～80点木満、C：60～70点未満 D：50~60 点未満、F：50点未満　【合否の別】合格：A、B、C【不合格】D、F		
準備学習	予習・復習	事前にシラバスを熟読し理解しておくこと。 また講義内容の復習を行うこと。	

※1回90分2授業時間数相当

回数	授業内容・到達目標	授業方法
5	建築物の企画・設計の考え方と手法	講義
5	小規模専用住宅の設計図面の作成	実習
4	住宅の外観スケッチの作成模型製作	実習
1	まとめ＆総合評価	実習

2025年度　シラバス

能達工科カレッジ

科目名：	建築設計製図基礎Ⅱ		担当教員：　若柳 綾子　先生				2　単位	
実務経験	あり	経歴	1級建築士として、設計事務所勤務					
講義名：		建築設計製図基礎Ⅱ						
2 年	授業時間数：　30 時間		授業形態：	講義	10	演習		実習	20

概要と学習目標
概要： 設計図面の作成、インテリア設計製図、建築計画と課題学習
学習目標：100点満点のうち60点以上を合格

成績評価項目と評価割合	出　席	授業態度（振り返りシートで評価）	定期テスト・成果物
	（2/3以上とする）	80%	20%
評価基準	A：80～100点、B：70～80点木満、C：60～70点未満 D：50~60 点未満、F：50点未満　【合否の別】合格：A、B、C【不合格】D、F		
準備学習	予習・復習	事前にシラバスを熟読し理解しておくこと。 また講義内容の復習を行うこと。	

※1回90分2授業時間数相当

回数	授業内容・到達目標	授業方法
5	設計図面の作成	講義
5	インテリア設計製図	実習
4	建築計画と課題学習	実習
1	まとめ＆総合評価	実習

2024年度　シラバス

能達工科カレッジ

科目名：	CAD Ⅰ			担当教員：	若柳 綾子　先生		2　単位	
実務経験	あり	経歴	1級建築士として、設計事務所勤務					
講義名：	CAD Ⅰ							
1 年	授業時間数：	30 時間	授業形態：	講義	10	演習		実習	20

概要と学習目標
概要： CADソフトの概況・Windowsの基本操作、AutoCADの基本操作、課題の作図
学習目標：100点満点のうち60点以上を合格

成績評価項目と評価割合	出　席	授業態度（振り返りシートで評価）	定期テスト・成果物
	（2/3以上とする）	80%	20%
評価基準	A：80～100点、B：70～80点木満、C：60～70点未満 D：50~60 点未満、F：50点未満　【合否の別】合格：A、B、C【不合格】D、F		
準備学習	予習・復習	事前にシラバスを熟読し理解しておくこと。 また講義内容の復習を行うこと。	

※1回90分2授業時間数相当

回数	授業内容・到達目標	授業方法
5	CADソフトの概況・Windowsの基本操作	講義
5	AutoCADの基本操作	実習
4	課題の作図	実習
1	まとめ＆総合評価	実習

2025年度　シラバス

能達工科カレッジ

科目名：	CAD II			担当教員：	若柳 綾子　先生		2　単位	
実務経験	あり	経歴	1級建築士として、設計事務所勤務					
講義名：	CAD II							
2 年	授業時間数： 30 時間	授業形態：	講義		演習		実習	30

概要と学習目標
概要： CADの応用操作実習、CAD操作による様々なデザインの家屋平面図、課題製図作成
学習目標：100点満点のうち60点以上を合格

成績評価項目と評価割合	出　席	授業態度（振り返りシートで評価）	定期テスト・成果物
	（2/3以上とする）	80%	20%
評価基準	A：80～100点、B：70～80点木満、C：60～70点未満 D：50~60 点未満、F：50点未満　【合否の別】合格：A、B、C【不合格】D、F		
準備学習	予習・復習	事前にシラバスを熟読し理解しておくこと。 また講義内容の復習を行うこと。	

※1回90分2授業時間数相当

回数	授業内容・到達目標	授業方法
5	CADの応用操作実習	実習
5	CAD操作による様々なデザインの家屋平面図	実習
5	課題製図作成	実習

2024年度　シラバス

能達工科カレッジ

科目：	ものつくり基礎		担当教員：　高田龍二　先生				単位
実務経験	あり	経歴	日立建機（株）で20年以上新製品の開発業務に従事				
講義名：	ものつくり基礎						
1 年	授業時間数：　40 時間	授業形態：	講義	12	演習	28	実習

概要と学習目標
概要： 産業界の根幹をなす「機械メーカー」の「モノづくり」を，開発から製造までの概要を学ぶ.
学習目標：(1) 機械を開発して製造する「モノづくり」の基本的な流れを理解する (2) 「簡単な図面を読める」「等角投影法の立体視図を描ける」ようになる (3) 金属材料の基礎，機械製造方法の基礎を知る

成績評価項目と評価割合	出　席	授業態度（振り返りシートで評価）	定期テスト・成果物
	（2/3以上とする）	80%	20%
評価基準	A：80～100点、B：70～80点木満、C：60～70点未満 D：50~60 点未満、F：50点未満　【合否の別】合格：A、B、C【不合格】D、F		
準備学習	予習・復習	事前にシラバスを熟読し理解しておくこと。 また講義内容の復習を行うこと。	

回数	授業内容・到達目標	授業方法
2	開発，製造の全体像，　開発とは何か	講義
2	開発の流れ，機械製図の基礎(1)；線，文字，記号	演習
1	機械製図の基礎(2)；第3角法，　講義，実習	演習
1	機械製図の基礎(3)；第3角法，　講義，実習	演習
1	機械製図の基礎(4)；第三角法で三面図を描く	演習
1	機械製図の基礎(5)；第三角法で三面図を描く，寸法を描く	演習
2	第３角法の図面から，立体をイメージするトレーニング	演習
1	等角投影法で立体を描く実習(1)；立方体	演習
1	等角投影法で立体を描く実習(2)；直方体，円	演習
2	等角投影法で立体を描く実習(3)；円，円柱	演習
2	等角投影法で立体を描く実習(4)；複合的な立体	演習
1	講義；金属材料の基礎	講義
1	講義；鋳造，VEの基礎	講義
1	講義；切削加工	講義
1	講義；溶接技術，まとめ	講義

2024年度　シラバス

能達工科カレッジ

科目名：	有機農業Ⅰ		担当教員：　甘利 雅広　先生				2　単位	
実務経験	あり	経歴	農研機構に技術指導員として農業に従事					
講義名：有機農業			有機農業Ⅰ					
1 年	授業時間数：　30 時間		授業形態：	講義	30	演習		実習

概要と学習目標
概要： 食と農、土と農、肥料と農
学習目標：100点満点のうち60点以上を合格

成績評価項目と評価割合	出　席	授業態度（振り返りシートで評価）	定期テスト・成果物
	（2/3以上とする）	80%	20%
評価基準	A：80～100点、B：70～80点木満、C：60～70点未満 D：50~60 点未満、F：50点未満　【合否の別】合格：A、B、C【不合格】D、F		
準備学習	予習・復習	事前にシラバスを熟読し理解しておくこと。 また講義内容の復習を行うこと。	

※1回90分2授業時間数相当

回数	授業内容・到達目標	授業方法
5	食と農	講義
5	土と農	講義
5	肥料と農	講義

2025年度　シラバス

能達工科カレッジ

科目名：	有機農業Ⅱ		担当教員：　甘利 雅広　先生				2　単位	
実務経験	あり	経歴	農研機構に技術指導員として農業に従事					
講義名：有機農業			有機農業Ⅱ					
2 年	授業時間数：　30 時間		授業形態：	講義	30	演習		実習

概要と学習目標
概要： 肥料・栽培、SDGsと農業
学習目標：100点満点のうち60点以上を合格

成績評価項目と評価割合	出　席	授業態度（振り返りシートで評価）	定期テスト・成果物
	（2/3以上とする）	80%	20%
評価基準	A：80～100点、B：70～80点木満、C：60～70点未満 D：50~60 点未満、F：50点未満　【合否の別】合格：A、B、C【不合格】D、F		
準備学習	予習・復習	事前にシラバスを熟読し理解しておくこと。 また講義内容の復習を行うこと。	

※1回90分2授業時間数相当

回数	授業内容・到達目標	授業方法
5	肥料・栽培	講義
10	SDGsと農業	講義

2024年度　シラバス

能達工科カレッジ

科目名：	バイオテクノロジーⅠ		担当教員：	甘利 雅広　先生			2　単位	
実務経験	あり	経歴	農研機構に技術指導員として農業に従事					
講義名：		バイオテクノロジーⅠ						
1 年	授業時間数： 30 時間		授業形態：	講義	20	演習		実習	10

概要と学習目標
概要： 太陽光利用による営農法、室内施設栽培・植物工場
学習目標：100点満点のうち60点以上を合格

成績評価項目と評価割合	出　席	授業態度（振り返りシートで評価）	定期テスト・成果物
	（2/3以上とする）	80%	20%
評価基準	A：80～100点、B：70～80点木満、C：60～70点未満 D：50~60 点未満、F：50点未満　【合否の別】合格：A、B、C【不合格】D、F		
準備学習	予習・復習	事前にシラバスを熟読し理解しておくこと。 また講義内容の復習を行うこと。	

※1回90分2授業時間数相当

回数	授業内容・到達目標	授業方法
10	太陽光利用による営農法	講義
5	室内施設栽培・植物工場	実習

2025年度　シラバス

能達工科カレッジ

科目名：	農地生態系		担当教員：　甘利 雅広　先生				2　単位	
実務経験	あり	経歴	農研機構に技術指導員として農業に従事					
講義名：農地生態系			農地生態系					
2 年	授業時間数：　36 時間		授業形態：	講義	36	演習		実習

概要と学習目標
概要： 草花栽培に必要となる肥料及び品目、土と肥料の関係
学習目標：100点満点のうち60点以上を合格

成績評価項目と評価割合	出　席	授業態度（振り返りシートで評価）	定期テスト・成果物
	（2/3以上とする）	80%	20%
評価基準	A：80～100点、B：70～80点木満、C：60～70点未満 D：50~60 点未満、F：50点未満　【合否の別】合格：A、B、C【不合格】D、F		
準備学習	予習・復習	事前にシラバスを熟読し理解しておくこと。 また講義内容の復習を行うこと。	

※1回90分2授業時間数相当

回数	授業内容・到達目標	授業方法
5	草花栽培と肥料	講義
5	植物と気象学	講義
8	SDGsの取り組みと持続可能な営農法	講義

2024年度　シラバス

能達工科カレッジ

科目名：	農地生態系基礎Ⅰ実習		担当教員：　甘利 雅広　先生				2　単位	
実務経験	あり	経歴	農研機構に技術指導員として農業に従事					
講義名：農地生態系		農地生態系基礎Ⅰ実習						
1 年	授業時間数：　36 時間		授業形態：	講義		演習		実習　36

概要と学習目標
概要： 土と肥料の関係
学習目標：100点満点のうち60点以上を合格

成績評価項目と評価割合	出　席	授業態度（振り返りシートで評価）	定期テスト・成果物
	（2/3以上とする）	80%	20%
評価基準	A：80～100点、B：70～80点木満、C：60～70点未満 D：50~60 点未**満**、F：50点未**満**　【合否の別】合格：A、B、C【不合格】D、F		
準備学習	予習・復習	事前にシラバスを熟読し理解しておくこと。 また講義内容の復習を行うこと。	

※1回90分2授業時間数相当

回数	授業内容・到達目標	授業方法
18	土と肥料の関係	実習